

2025 年度名城大学薬学部同窓会代議員総会議事録

開催日：2025 年 5 月 25 日(日)

開催場所：名古屋東急ホテル（名古屋市中区栄 4 丁目 6-8）

出席者：対面 23 名

代議員総数 119 名 委任状 65 通（回収率 75.6%） 議決権 73.9%

○開会（総務担当 平岡副会長より開会宣言）

○会長挨拶（黒野会長）

お忙しい中、お集まりいただき有難うございます。本会は今後の方向性を決める重要な役割がある会議でございます。昨年度から会長を務めさせていただいておりますが、「その繋がりを未来に、そして力へ」というスローガン定めさせていただきました。まずは世代交代を進めていくこと、そしてより一層団結をとり、活動していきたいと考えております。まず今年はその第一歩として、先輩方が中心に進めてきた様々な行事を先輩方にアドバイスいただき今年度実施していくという方針で進めてまいります。この後、総会の中にて少しご報告ご説明をさせていただきますが、おおむね昨年度の目標が達成できたのではないかと、というふうに考えております。本日は、昨年度の事業報告、会計報告、そして本年度の事業計画、予算案についてお諮りいたします。議論を通じて、より実効性のある方向性を見出し、より発展をしていくように進めてまいります。皆様の積極的なご意見が、私たちの同窓会の未来を切り拓いていくものであると確信をしております。どうぞ活発なご議論をお願いします。

○議長選任

平岡副会長より立候補者を募りましたが、参加者の中でお見えにならず、慣例によりご指名させていただきました。議長 32 回生 樋口代議員、副議長 58 回生岩井代議員にお願いしましたところ、会場から多数拍手を持って異議等なく選任となった。

○議長挨拶（樋口議長、岩井副議長）

ご指名により本年代議員総会議長を務めさせていただきます。宜しく申し上げます。
参加状況、委任状数、回収率、議決数に基づき本題代議員総会の成立を認めます。
では議案 1 に対してご説明をお願いします。

○議案 1 説明（黒野会長）

2024 年度事業実施方法について説明いたします。資料をご参照ください。

① 会議および懇親会

代議員総会を令和 6 年 6 月 9 日に実施。名城大学薬学部 3 号館 1 階で開催。

会議は基本オンラインで実施しました。正副会長会議、常務理事会、理事会、各委員会を開催いたしました。また、大学と定期的に協議を行っており、令和 6 年 10 月 10 日に三者懇を名城大学薬学部にて実施いたしました。

② 事業

1) 薬学部同窓会研究助成金の実施

若手研究者への支援を目的にしております。昨年は分析化学研究室の杉山栄一先生に研究助成を行っております。

2) 卒後教育講座

従来4回の実施でしたが、昨年度から3回の実施に変更しております。参加者は当初250名を予定しましたが、110名の申し込みがありました。

3) 同窓会誌「城葉」の発行

第38号は3,400部の発行をしております。

4) 事前学習補助者（ボランティア）の募集

4年生で事前学習をしております、15名の先生に協力頂き、トータル44日間参加頂きました。

5) 校友会との連携についてご報告します。

全学の同窓会組織として校友会があります。校友会の副会長を黒野会長が務め、奨学金委員会として、渡邊理事、校友会理事に久田理事、広報委員に平岡副会長、校友会幹事に間宮理事、校友会常務理事に堀田副会長が着任し、校友会との連携をとっております。

6) 会費納入拡充の実施・事務処理の効率化

7) 同窓会室の有効活用

7号館5階に現在ありますが、再開後どうなるかまだ分からないので注視していこうと思います。

8) クラス会の活性化・支部活動の活性化

クラス会、同期会の開催をした際には城葉誌に掲載させて頂いております。

9) 同窓会ホームページの充実

随時更新するようにしています。

10) 会員名簿の整理

外部業者のサラトに委託をして管理しています。

③ 行事

8件の行事を行いました。

1) 第57回日本薬剤師会学術大会 in 埼玉 同窓会懇親会の開催

令和6年9月22日に開催

2) 城葉ゴルフコンペ

桑名国際ゴルフクラブで開催しました。

3) 大学祭への参加・協力

名城大学薬部キャンパスで2日間にわたって開催しました。

4) 就職支援行事の学部との共催

令和6年11月1, 2日に業界研究会、令和6年10月19日OBOG進路相談会

現役で働いている卒業生の生の意見を聞ける場として用意しております。

5) 名城大学薬学部学位記授与式及び卒業祝賀会への参加

令和7年3月18日ヒルトンで開催をしました。(議案1の資料の開催場所は修正ください)

6) 日本薬学会145年会にて同窓懇親会 in 福岡の開催

ほとんどの薬系の大学が参加する中で同窓生の絆を深めました。

7) 同窓交流会の開催

今日午後から開催させて頂きます。

8) 令和6年名城大学薬学部退職教員慰労会

退職教員に対し、景品のプレゼントを行いました。

④ 中期計画

現在具体的な確定はありませんが、大学と様々なイベントを協議しております。

○議案 2 説明（小栗副会長）

収入の部で会費予算として 6,000,000 円予定しておりましたが、決算額 6,214,000 円となり、内訳として年会費 1 年 42 名、3 年 44 名、7 年 114 名の振込がありました。また入会金として在校生 1 年生 239 名の振込がありました。

校友会援助金は、予算立案時は 250 名で予算計上致しましたが、253 名の入学者となり 12,000 円の増額、広告収入(城薬)も 50,000 円増額となっています。預貯金の利息は、5,883 円となりました。前年度繰越金は 4,232,188 円になっています。合計収入の部が 12,214,471 円となります。

支出の部では、会議費が費用弁償分の支出となり 64,000 円減額の 136,000 円、代議員総会費も 40,358 円減額の 159,642 円、各種委員会も減額の 48,000 円となりました。会誌発行費に関しても、326,476 円の減額となりました。渉外費は 182,900 円で、各支部総会祝儀・参加費・出張費、教授会正副合同会議の費用です。慶弔費としまして 45,540 円。学生会援助金は薬学祭のみでしたので 120,000 円減額になりました。同窓会懇親会は日本薬剤師会、日本薬学会にて行われ、260,310 円でした。事業費は 471,806 円でした。研究助成金につきましては予定の 300,000 円でした。積立金は 600,000 円で 100 周年記念事業に向けて積み立てております。次年度繰越金は 6,481,240 円で、合計支出の部も 12,214,471 円になります。

資産に関しては 2024 年度残高 25,341,703 円となります。

以上報告いたします。

○監査報告（丹羽監事）

、令和 7 年 5 月 8 日恒川監事と名城大学にて、監査対象期間として、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの監査を行ったところ、適切に表示されていることを確認いたしました。

○質疑応答

積み立ての期間について教えてください。(代議員)

→積立期間は 5 年で、来年度で 5 年すべてになります。(小栗副会長)

→わかりやすく表記されるといいと思います。(代議員)

研究助成金の 30 万円というのは少し弱いかなと思うのですが、増額などの検討できますか？(代議員)

→ありがとうございます。まさにご指摘のとおりですね。三者懇でも実はお話させて頂いております。

対象の先生も減ってきておりますし、助成金の適切な額については大学とも増額を含め考えているところで、再来年度以降に反映できればと考えております。(黒野会長)

○議決（議長）

第 1 号議案、第 2 号議案ともに賛成挙手多数。過半数の賛成により承認

○議案 3 説明（黒野会長）

2025 年度事業計画案についてご説明をさせていただきます。

① 会議及び懇談会

滞りなく実施したいと考えております。常務理事会で決まった内容を理事会にて共有、承認いただいて運営しております。支部長会、支部総会の開催がされていないので、働きかけていきたいと思っております。教授会へ

の参加や三者懇も継続して行っていきたいと思います。

② 事業

1) 薬学部同窓会研究助成金の実施

先ほどご指摘いただきましたが、今年度は研究助成金として 30 万円の助成を 腫瘍分子医学研究室の河地真理子先生にしたいと考えております。腫瘍、がんの研究を行っている研究室の先生です。

2) 卒業教育講座

すでに 5 月 18 日から開催されております。昨年度のように年に 3 回、同様な形式で開催をしたいというふうに考えております。

3) 同窓会誌「城薬」の発行

第 39 号も今まで通り紙媒体で発行したいと考えています。

4) WEB 講演会の実施

コロナ中でできる事を考えて実施。

5) 事前学習補助者（ボランティア）の募集

6) 模擬患者募集

これまで通り行いたい。大学の授業で模擬患者さんと接することがあります。こちらも大きな支援になると考えております。

7) 校友会との連携協力

業務担当任期は 2 年となっております。昨年度に続き同じように担当させて頂きたいと考えています。

8) 会費納入拡充の実施・事務処理の効率化

9) 同窓会室の活用

1 0) クラス会の活性化。支部活動の活性化

1 1) 同窓会ホームページの充実

1 2) 会員名簿の整理

2020 年から外部業者のサラトに委託をしていますが、今年度もう一度ブラッシュアップをしたいと考えています。

1 3) 会員親睦レクリエーション事業（ゴルフ・テニス・親睦会等）

1 4) 在学生への支援事業

今年度から 100 円朝食を大学で行うことになりましたので支援しようと考えています。

③行事

1) 第 58 回日本薬剤師会学術大会にて同窓懇親会 in 京都の開催

2) 城薬ゴルフコンペ 2025 の開催

3) 同窓交流会の実施

4) 日本薬学会第 146 年会にて同窓懇親会 in 大阪の開催

5) 大学祭への参加・協力

6) 就職支援行事の学部との共催

7) 名城大学薬学部学位記授与式および卒業祝賀会への参加

④中期計画

事業計画のところで説明した通り進めていきたいと思います。

○議案 4 説明（小栗副会長）

収入の部ですが、会費収入として 600,000 円を予定しております。校友会援助金は、規定で決まっておりますので、入学予定の 249 名で予算計上しました。広告収入において 700,000 円を予定、利息に関して 6,000 円

としました。前年度繰越金を含め 14,183,240 円を収入の部の予算といたしました。

支出の部では、サラトの名簿管理費として 1,500,000 円計上しているところが大きな変更点です。会議費を 200,000 円と計画しました。代議員総会費は 200,000 円の予算を計画しました。各種委員会も協議が、活発化する予定の為、昨年度予算同額の 150,000 円を計画しました。会誌発行費に関しては 2,000,000 円の計画となりました。学生会援助金も昨年同様 432,000 円の計画となりました。事業費に関しては、3,000,000 円の支出計画となり昨年度予算より 700,000 円増額になっております。研究助成金につきましては今年度 300,000 円ですが、今後は増額も含め検討してまいります。役員保険加入費、積立金に関しては、昨年度予算同額で計画しました。手数料に関しては、昨年度同様 80,000 円で計画致しました。予備費を含め 14,183,240 円を支出の部の予算となりました。

以上 2025 年度予算案となります。

○質疑応答

代議員総会の出席者名簿の作成予定はありますでしょうか。

できれば何回生の方が来ているかわかればいい。

若い代議員がどれくらい来ているかなど把握できるといいと思います。

今回はやめた方がいいというお話になったのかも含めて教えてください。(代議員)

→今回は名簿を作成しておりません。来年度以降名簿の作成を含め検討させて頂きたいと思いますが、昨今賛否両論あるため、閲覧できる若い方が少なくて頭を悩ませております。

代議員に関しては若い世代の参加が少なく、若い世代に色んな声かけをしていくようお願いしております。広報としても若い世代に伝えていく方法として、公式 LINE などの作成をして情報を伝える手段を増やしていこうと考えています。

代議員総会の予算 20 万円は少ないと思いますが、代議員総会をやられた方に同窓交流会の招待など検討できないでしょうか。以前はいいホテルでやるとたくさん集まりました。しかし大学でやると半分くらいしか集まらなかった。コロナ以降やれなかったが、若手は無料など検討をして頂ければと思います。(代議員)

→懇親会をやっていたので費用を 50 万くらい計上しておりました。現在は会議の費用のみ計上しております。いい会場であれば人が集まることは十分理解しておりますが、ホテルの費用も高騰しておりますので、十分に検討してまいります。来年度も代議員総会后、同窓交流会を行う予定でおります。ホテルをアップグレードした際、会費が 1 万 5 千円などになった場合、参加していただけるのかという不安も少しありますので、同窓会の中で検討させて頂きたいと思います。(黒野会長)

→若い方の参加費を下げる等の検討もお願いしたいと思います。(代議員)

岩月さんが薬剤師会会長就任にされたので、同窓会として何か検討されていますか。

→会長になられたということで胡蝶蘭を同窓会から送付しております。今年度の城葉誌に岩月会長を囲む会を実施し、城葉誌にも掲載する予定です。(黒野会長)

同窓交流会の案内は先に来ましたが、代議員総会の案内がちょっと遅かったです。忙しい人間にとっては 1 ヶ月前は厳しいものもあります。早く案内すれば参加人数も増えると思いますので宜しくお願いします。

→発送に手間取ってしまい、ご迷惑をおかけしました。大変申し訳ございません。来年度以降はこのようなことが無いようにさせていただきます。(黒野会長)

週に三日ほど調剤薬局の薬剤師をやっています。後輩の人がたくさんいるが、城葉をもらっている人は同窓会

費を払っている人。払っていない人は会報がなく、情報が回っていない。名城大学薬学部を卒業したという気持ちを保つ方法として同窓会報を読むことも一つではないかと思います。予算の兼ね合いもあると思いますが、例えば薄いものを発行して広く、こうゆうことをやっているということを多くの卒業生に知ってもらう方法を考えて頂けるといいと思います。それぞれが忙しい中でも関心がない卒業生もいますが、イベントのことを知らない方もいらっしゃいます。私は卒業して 50 年になりますが、クラス会の際に先生をお招きして、泊りなどの集まりもしています。若い方も活性化していただければと思います。(代議員)

→まさにそういった状況が起きていますと感じております。新入生、卒業時に城薬誌を全員に送付しております。SNS の活用など今後さらに検討していきたいと思います。(黒野会長)

質問ではないですが、意見として役員の皆さんの旅費などもそうですが、研究助成金など増額の検討を進めて頂ければと思います。(代議員)

→ご意見ありがとうございます(黒野会長)

○閉会(平岡副会長)

本日は、お忙しいところ、同窓会代議員総会にご出席いただきまして有難うございました。以上を持ちまして 2025 年度薬学部同窓会代議員総会を閉会といたします。

本日は有難うございました。なお、12 時 30 分より同窓交流会を予定しております。

12:00 閉会